

## 5 月チャプレン便り

# 「ありのまままで」

A 子さんという主婦の方がこんな告白をしておられました。  
彼女は、ある時は良い母親を演じ、ある時は良い妻を演じ、また近所では良い主婦を演じていました。ところが、そのことが、だんだんとストレスとなり、疲れ果て、しまいには本当の自分がわからなくなってしまいました。

そんなある日、大学時代の恩師から電話をもらいました。  
「A子、元気か」。なつかしい先生からのこの一言が矢のように彼女の心の中に飛び込んできました。その瞬間、彼女は、「あーっ、自分はA子だったんだ」と思い出したのです。彼女の頬(ほお)を温かい涙がスーッと落ちました。私は私なんだ。この当たり前のことを思い出した時、心の重荷から解放されたのです。

私たちは、人の目を気にしすぎて、本当の自分を殺し、それゆえに息のつまるような思いをすることがあるようです。私は私なんだ、という当たり前のことを認めることのできない人生は、やはり苦しいものです。私たちは、もう少し自分自身を解放してみてもいいのではないのでしょうか。

神は、そのようなありのままの私を愛してくださいます。  
神の私たちに対する愛を知った時、私たちは、もっと自分自身を愛しても良いのだと気づくはずです。そして、ありのままの自分を生きていくことができるようになるのです。

私たちは、まわりの目ではなく、また、自分自身の評価でもなく、私たちを愛の御手をもって造られたお方、愛のまなざしをもって見守り、導いて下さるお方を忘れないように致しましょう。

### 聖書の言葉

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」

イザヤ書43章4節（新改訳聖書）

石川三育保育園チャプレン 北 睦 夫